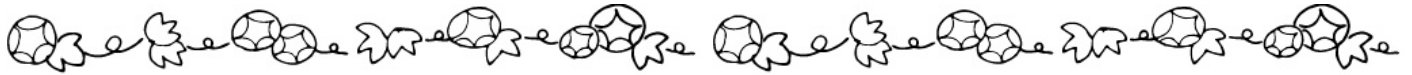




気持ちよく晴れ渡った青空に、照りつけるような陽射し。いよいよ夏がやってきました。子どもたちはアサガオで色水を作ったり、雨どいで水路を作って水を流したりと夏らしい遊びが大好きです。きれいな色水を作りたい、水道から手作り池まで水が流れるようにしたい、と何度も試したり友達と協力したりする姿が見られるようになり、それぞれの子どもたちの成長を感じています。



セミとり名人

園庭ではセミの大合唱が聞こえてくるようになりました。戸外遊びの時間になると子どもたちは虫捕り網を持って嬉しそうにセミの姿を探し、追いかけて楽しんでいます。「このセミは鳴いてへんからちょっと待って」「上の方からそっと捕まえるで」と、絵本で見たことを実際に活かしながらセミを狙う姿は真剣そのものです。「捕まえたセミはどうする？」と尋ねると、「弱ってしまったらかわいそう」「セミさんもおうちに帰りたいんじゃない？」という意見から「夕方には逃がしてあげる」という約束もできました。

また、セミの抜け殻も子どもたちにとっては宝物です。園やおうちの近くで見つけた抜け殻を虫かごいっぱいに入れて持ってきたり、園庭の隅々まで探したりしています。抜け殻コレクションもどんどん増えていきそうです。目指せ、セミとり名人！



かもめ忍者 水修行

一人前の忍者になるために、日々忍者修行に励むかもめ忍者たち。近頃暑さが増し、水修行が始まりました。これまでに“あたま手裏剣”“あし手裏剣”を、かがんだりジャンプしたりして素早く避ける修行を積んできたかもめ忍者たちは、水手裏剣が飛んできても上手にかわすことができます。壁にさっと隠れたり、ビニールシートを使って仲間と一緒に“隠れ身の術”を使ったり、忍者になりきって楽しんでいます。水遊びが始まったころは不安で泣き出しそうだった子どもも、友達が楽しそうにプールで泳いだり、気持ちよさそうにシャワーを浴びたりする姿を見て、「僕もやりたい！」という気持ちが高まり、いまでは顔に水がかかっても平気なほど存分に楽しんでいます。

